

KENWOOD

MDレシーバー

f-MD7

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation



MDLP

© B64-2009-00 (TKR)

Functional Operation

Source Selection

Audio Control

Display Control

Function Control

MD Mode

Tuner Mode

Name Set

EZ Operation

Options — External Disc Control

Remote Control

Help ? Operation — Help
? Word

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

MD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた	10
----------------------	----

リモコンでも操作できるゾ！

Remote Control

Remote Control	38
Common Operation	
MD/CD Operation	
Tuner Operation	
SNPS/DNPS Operation	
SBF Operation	
電池の入れかた	

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help ? Operation

? Word

Help? Operation	44
Help? Word	50

付録

Appendices

取り付け時のご注意	52
接続	54
取り付け	56
保証とアフターサービス	58
仕様一覧	59

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

Source Selection	12
ソース選択	
Audio Control	12
dB EQUALIZER	
DSPモード選択	
ノンフェーダー出力設定	
交通情報音量設定	
オーディオコントロール	
Display Control	18
ディスプレイタイプ選択	
ALL OFFモード中表示選択	
ディスプレイ上段表示選択	
ディスプレイ下段表示選択	
グラフィック表示選択	
Function Control	22
ファンクションセット	
時計調整	
日付設定	
MD Mode	26
トラックサーチ	
マニュアルサーチ	
ポーズ	
トラックスキャンプレイ	
トラックリピートプレイ	
ランダムプレイ	
タイトルスクロール	
Tuner Mode	28
バンド切り替え	
プリセットチューニング	
チューニング	
オートメモリー	
マニュアルメモリー	
Name Set	30
DNPS (ディスクネームプリセット)	
/ SNPS (ステーションネームプリセット)	
AUXネームセレクト	

オプションも使いこなそう！ オプションズ

Options

External Disc Control34

- ディスクサーチ
- トラックサーチ
- マニュアルサーチ
- ポーズ
- トラック/ディスクリピートプレイ
- トラックスキッププレイ
- トラックランダムプレイ
- マガジンランダムプレイ
- タイトル/テキストスクロール

Functional Operation

Source Selection

Audio Control

Display Control

Function Control

MD Mode

Tuner Mode

Name Set

EZ Operation

External Disc Control

Remote Control

Help

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の4つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

オプションも使いこなそう! オプションズ

Options

Help

? Operation

? Word

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。

ここだけ読めば、とりえずお使いいただけます。

EZ Operationを習得したらここへ。

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

本機に接続できる別売品のディスクチェンジャーの使いかたを説明しています。別売品を接続しているときにお読みください。

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

マニュアルやディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した [Remote Control]、本機の取り付け方法などを説明した [Appendices] があります。

- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて



共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



ディスクの操作

MDをプレイする操作を表しています。なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて「ディスク」と呼んでいます。



チューナーの操作

FMI/AM放送を受信する操作を表しています。



注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

1秒以上押す

1秒以上(メモリーに書き込むときは2秒以上)押す操作を表しています。

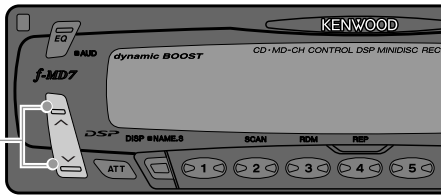


動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表します。通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印中の表示を目安にできます。

短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。





A

この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

DSPモード選択

疑似音場効果を設定します。

1 DSPモードにします

D



Bypass

現在設定しているDSP項目の表示が「Bypass」になるまで押し続けます。

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押し続けます。

2 DSPの項目を選択します

D



表示される文字または内容

- 押すたびに次の順で切り替わり表示されます。
- ▼ Bypass バイパス
 - ▼ Stadium スタジアム
 - ▼ Concert Hall コンサートホール
 - ▼ Club Disco クラブディスコ
 - ▼ Church 教会
 - ▼ Listening Room リスニングルーム

内容の説明

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

Source Selection

Audio Control

Display Control

Function Control

MD Mode

Tuner Mode

Name Set

External Disc Control

Remote Control

Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」
をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

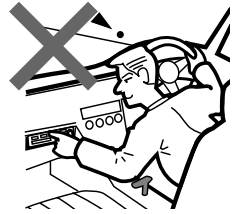
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



警告



実施

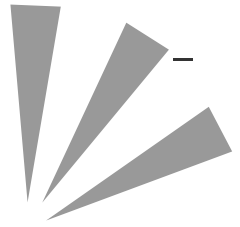
運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

●音量調節などのカーオーディオの操作



実施

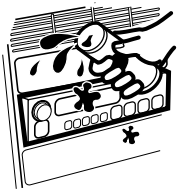
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



⚠ 注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



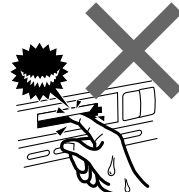
禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをすることがあります。

使用上のご注意

本機に接続するCDプレーヤー/ ディスクチェンジャーについて

KDC-C510, KDC-C410, KDC-C406, KDC-C310, KDC-C306, KDC-C210, KDC-C206, KMD-C30, RJ-480, RD-380またはRD-360が接続可能です。これらのディスクチェンジャー/CDプレーヤーの“O-Nスイッチ”は“N”側に設定してください。

別売品のCD/MDチェンジャースイッチングユニット“KCA-S210A”を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続することができます。接続などの詳しい説明はKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

KCA-S210A(別売品)の AUX IN端子について

本機に接続したチェンジャースイッチングユニットKCA-S210A(別売品)のAUX入力機能は使用できません。

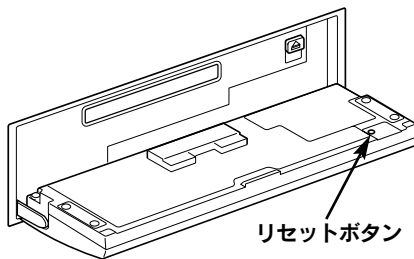
セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp(p.44)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではMDの読み取りができなくなります。

このようなときは、MDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

MDのお手入れ

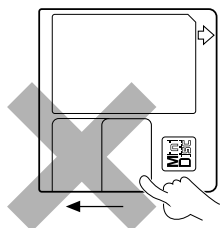
カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。

また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。

シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



温度について

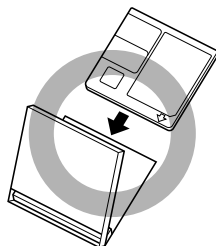
直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてMDの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

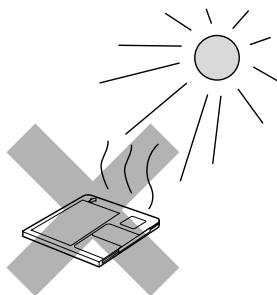
保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



高温に注意

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



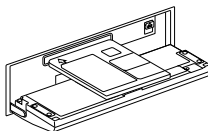
EZ Operation

MDのプレイは簡単！ MDを差し込むだけです。



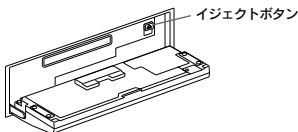
MDをプレイするときは…

■を押して操作パネルを開き、プレイするMDを差し込みます。差し込んだMDがプレイされます。

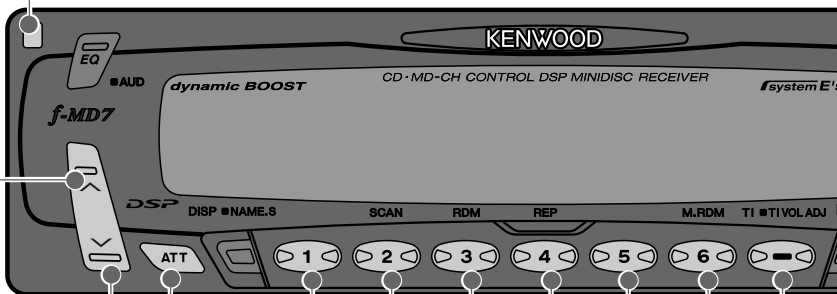


MDを取り出すときは…

イジェクトボタンを押します。



- ディスクを手で押して、完全に引き込まれてから操作パネルを閉じてください。
- 開いている操作パネルに無理な力をかけないでください。



音量を上げます。



音量を下げます。



音量をすばやく小さくします。
もう一度押すか、へボタンを押すと元の音量に戻ります。



メモリーされている放送局を選びます。
2秒以上押し、受信中の放送局をボタンにメモリーします。



交通情報を受信します。
もう一度押すと元に戻ります。



注意

- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。



MDの操作



チューナーの操作



共通の操作



プレイする曲を選びます。

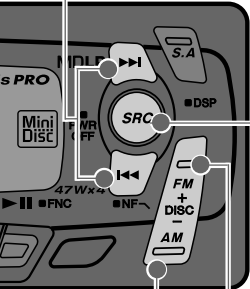


受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を1ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。
(22ページ)



交通情報の周波 (1620KHz/1629KHz/522KHz) を切り替えます。



電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになります。
1秒以上押すと、電源がオフになります。



MDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、MD、TV (AUX)、ALL OFFに切り替わります。



FM放送のバンド (FM1/FM2) に切り替えます。



AM放送のバンド (AM1/AM2) に切り替えます。

Source Selection

Audio Control

Display Control

Function Control

MD Mode

Tuner Mode

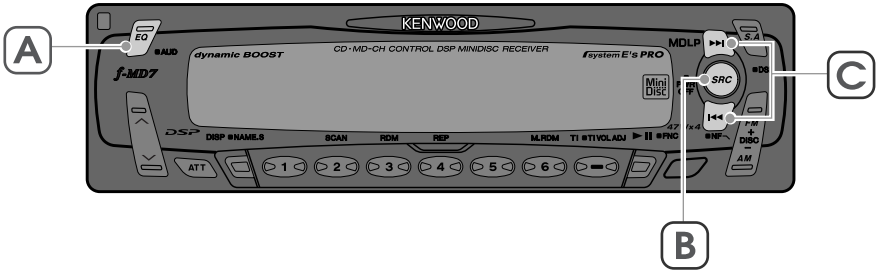
Name Set

External Disc Control

Remote Control

Help

Source Selection / Audio Control



ソース選択

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。

- TUNER FM/AM放送を受信
- MD MDをプレイ
- TV AUX入力されている音を出力
- ALL OFF 電源をオンのままで機能を停止

別売品が接続されているときには、次の順で切り替わります。

- TUNER FM/AM放送を受信
- MD MDをプレイ
- CD 接続したCDプレーヤー内のCDをプレイ
- CD-CH 接続したCDチェンジャー内のCDをプレイ
- MD-CH 接続したMDチェンジャー内のMDをプレイ
- TV AUX入力された音を出力
- ALL OFF 電源をオンのままで機能を停止

● AUXソースの表示は、初期状態では“TV”と表示されますが、“AUXネームセレクト”(32ページ)で変更することができます。

dB EQUALIZER

ジャンル別に設定された音質を呼び出して、その音質効果の強弱を設定します。

1 dB EQUALIZER選択モードにします



2 dB EQUALIZERを選択します



押すたびに次の順でメモリーされている音質に切り替わります。

- ROCK ロック
- DANCE ダンス
- VOCAL ボーカル
- JAZZ ジャズ
- EASY イージー
- USER PRESET ユーザープリセット
- FLAT フラット

プレイするソースを選びます。
また、音質などを調整します。



- dB EQUALIZERはFM放送、AM放送、MDモード、TV(AUX)モード、CD-CHモード、MD-CHモード、CDモードの各ソースごとに設定できます。
- “USER PRESET” はオーディオコントロール (16ページ) で設定した音質を呼び出します。

3 効果の強弱を選択します



押すたびに、“HIGH”と“LOW”とに切り替わります。



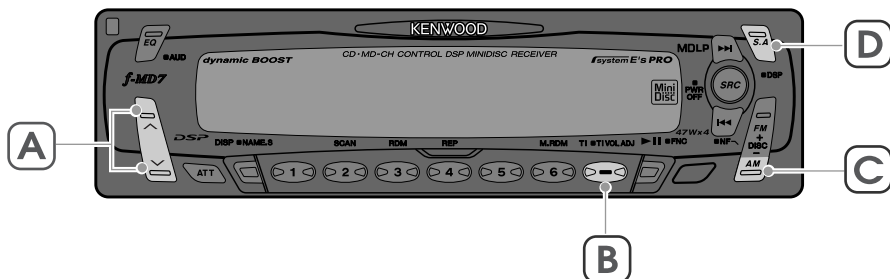
- “FLAT” または “USER PRESET” を選択中は切り替えられません。

4 dB EQUALIZER選択モードを終了します



または、10秒以上なにも操作しないでおきます。

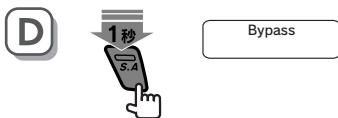
Audio Control



DSPモード選択

疑似音場効果を設定します。

1 DSP選択モードにします



現在設定しているDSP項目の表示がされるまで押し続けます。

2 DSPの項目を選択します



押すたびに次の順で切り替わります。



3 DSP選択モードを終了します



または、10秒以上なにも操作しないでおきます。

- オーディオコントロール項目の“Balance”および“Fader”を中央以外に設定すると、正しいDSP効果が得られません。“Bypass”以外に設定したときは、“Balance”および“Fader”を中央位置で使用してください。(16ページ)
- 交通情報モード中は、自動的にDSP機能が解除(バイパス)されます。

ノンフェダー出力設定

ノンフェダー出力のオン/オフを切り替えます。



1秒以上押すたびに、ノンフェダー出力がオン/オフします。

- ノンフェダー出力設定はファンクションセット（22ページ）の“SWPRE”項目が“N-Fad”に設定されているときに設定できます。

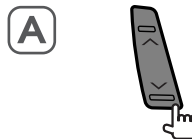
交通情報音量設定

交通情報受信時の音量をメモリーします。

1 交通情報モードにします



2 設定したい音量にします



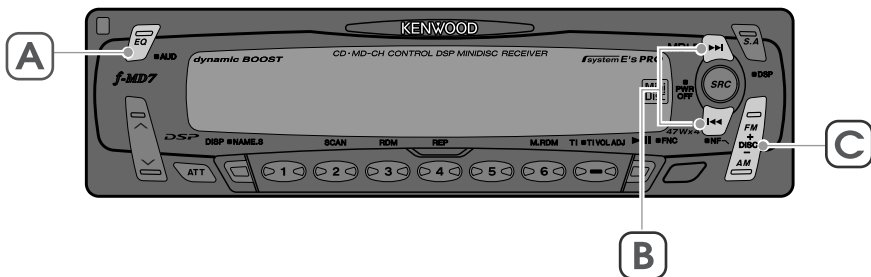
3 音量をメモリーします



音量表示が1回点減するまで押し続けます。もう一度押すと、交通情報モードは解除されます。

次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

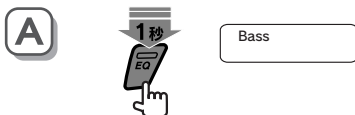
Audio Control



オーディオコントロール

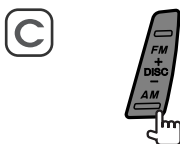
音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



オーディオコントロールの項目が表示されるまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
Bass FRQ (低音中心周波数)	60/70/80/ 100または150(Hz)
Bass (低音)	- 8 ~ + 8
Bass Q (低音クオリティ ファクター)	1.00/1.25/1.50/2.00
Bass EXT (低音中心周波数伸張)	ON/OFF
MID FRQ (中低音中心周波数)	500/1k/1.5k/2.0k(Hz)
MID (中低音)	- 8 ~ + 8
Middle Q (中低音クオリティ ファクター)	1.0/2.0
TRE FRQ (高音中心周波数)	10k/12.5k/15k/17.5k(Hz)
TRE (高音の音量レベル)	- 8 ~ + 8
Balance (左右の音量レベル)	L15~R15
Fader (前後の音量レベル差)	R15~F15
NF Level (ノンフェーダープリアウト 出力レベル)	-15~+15
HPF Front (フロント低音カット)	Throu/40/60/80/100 120/150/180/220(Hz)
HPF Rear (リア低音カット)	Throu/40/60/80/100 120/150/180/220(Hz)
LPF NF (ノンフェーダー高音カット)	50/80/120/Throu(Hz)
NF Phase (ノンフェーダー出力位相)	Normal(正相)/ Reverse(逆相)
Volume Offset (ソース間のレベル差)	-8~±0

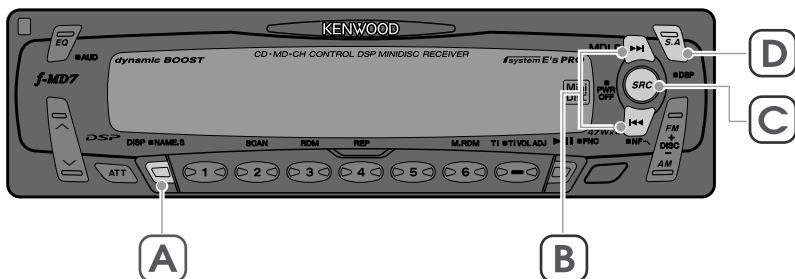
- “Bass”、“MID”、“TRE”、および“NF Level”はFM放送、AM放送、MDモード、TV(AUX)モード、CD-CHモード、MD-CHモード、CDモードの各ソースごとに設定できます。
- 設定項目の詳しい機能説明はHelp(P.50)を参照してください。
- “NF Level”、“LPF NF”、および“NF Phase”はファンクションセット (22ページ) の“SWPRE”項目が“N-Fad”に設定されているときに設定できます。
- Bass Q (低音クオリティーファクター) の設定値により、Bass FRQ (低音中心周波数) の設定可能な周波数が以下のように変わります。

Bass Q 設定値	Bass FRQ設定可能値
1.00/1.25/1.50	60/70/80/100(Hz)
2.00	60/70/80/150(Hz)

4 オーディオコントロールを終了します



Display Control



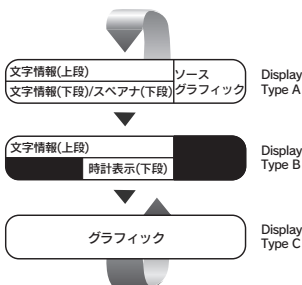
ディスプレイタイプ選択

ディスプレイに表示されるタイプを切り替えます。

A



押すたびに次の順で切り替わります。



- 「(上段)」、「(下段)」および「グラフィック」の切り替えかたはそれぞれ、ディスプレイ上段表示選択 (19ページ)、ディスプレイ下段表示選択 (20ページ)、グラフィック表示選択 (21ページ) をご覧ください。
- 「ソースグラフィック」はファンクションセット (22ページ) の “Icon/Speana Select” 項目でスピーカに切り替えることができます。
- ALL OFFモード中はType Cに切り替えられません。

ALL OFFモード中表示選択

ALL OFFモード中のディスプレイ表示を選びます。

1 ALL OFFモードにします

C



ALL OFF

2 表示を選びます

D



押すたびに次の順で切り替わります。



- ディスプレイタイプがType Bのときは、“グラフィック”に切り替えられません。

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。

ディスプレイ上段表示選択

ディスプレイタイプのType AまたはBの上段表示を切り替えます。

1 ディスプレイ表示切替モードにします

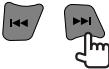
D



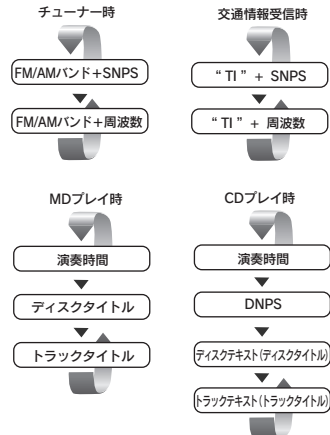
Display Control
Mode ON

2 表示を選びます

B



押すたびに次の順で切り替わります。



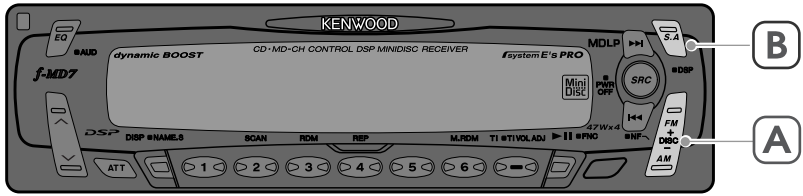
- ディスプレイ上段表示は下段に表示されている情報と同じ情報は選択できません。
- AUXソース時はAUXネームセレクト(32ページ)で設定された名前が表示され、切り替えはできません。

3 ディスプレイ表示切替モードを終了します

D



Display Control



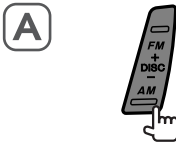
ディスプレイ下段表示選択

ディスプレイタイプのType AまたはBの下段表示を切り替えます。

1 ディスプレイ表示切替モードにします



2 表示を選びます



Type Bに設定時は、時計表示がオン/オフしません。

Type Aに設定時は、押すたびに次の順で切り替わります。



● ディスプレイ上段表示は下段に表示されている情報と同じ情報は選択できません。

3 デ스플레이表示切替モードを終了します

B



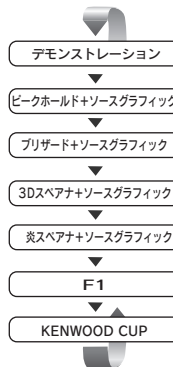
グラフィック表示選択

ディスプレイタイプのType Cの表示を切り替えます。

B

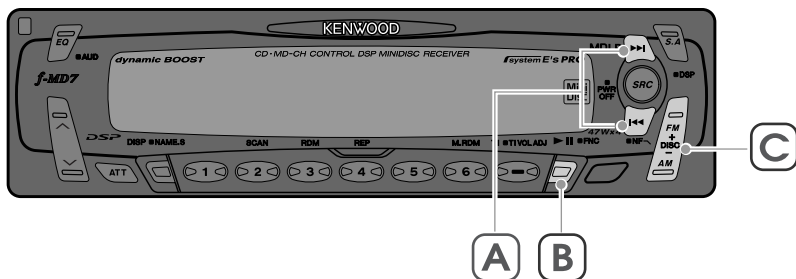


押すたびに次の順で切り替わります。



- 「ソースグラフィック」はファンクションセット (22ページ) の “Icon/Spaena Select” 項目でスピーアに切り替えることができます。

Function Control



ファンクションセット

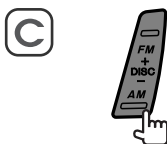
操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

1 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION”と表示されるまで押し続けます。

2 設定する項目を選択します



3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

すべてのモード中

設定項目	設定値
Beep (ビープ音)	ON/OFF
Built-in AUX (AUXソース切り替え設定)	ON/OFF
Scroll (タイトルスクロール設定)	Auto/Manual
AMP Bass (外部アンプコントロール)	Flat /+ 6 /+12
SWPRE (プリアウト出力選択)	Rear/N-Fad
DB PRO (オーディオコントロールの項目数選択)	ON/OFF
Dimmer (車両ライトスイッチがオンのときの減光を設定)	ON/OFF
Font Select (ディスプレイ表示のフォント選択)	2種類のフォントから選択します。
Icon/Spaana Select (ソース切り替えグラフィックとスピーカの選択)	4種類の表示から選択します。
Date Adjust (日付設定)	設定の方法は25ページをご覧ください。
Clock Adjust (時計調整)	調整の方法は24ページをご覧ください。

(太字は初期設定値)

本機の各種の機能を設定します。

TUNERモード中のみ

設定項目	設定値
MONO (モノラル受信)	ON/OFF
Auto-Memory (オートメモリー)	設定の方法は29ページをご覧ください。
Seek Mode (チューニングモード)	Auto1 /Auto2 /Manual

(太字は初期設定値)

ALL OFFモード中のみ

設定項目	設定値
Navi Mute (ナビ音声ガイド時のミュート設定)	ON/OFF
Builtin AMP Mute (内蔵アンプの出力停止設定)	ON/OFF

(太字は初期設定値)

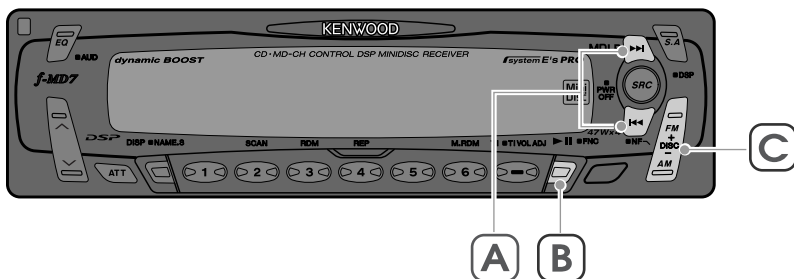
- 設定項目の詳しい機能説明はHelp(P.50)を参照してください。
- “AMP Bass” で本機からコントロール可能なアンプはKAC-PS501F/ PS301T/ PS201Tです。(2001年3月1日現在)

4 ファンクションセットモードを終了します

B



Function Control



時計調整

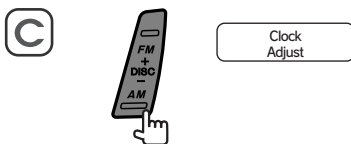
時刻を合わせます。

1 ファンクションセットモードにします

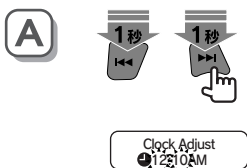


“FUNCTION” と表示されるまで、押し続けます。

2 時計調整項目を選択します

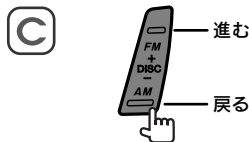


3 時刻合わせを開始します



または を時計が点滅表示するまで押し続けます。

4 “時” を合わせます



5 “分” を合わせます



6 時刻合わせを終了します



分を調整した時は、“00” 秒からカウントがスタートします。
ファンクションセットモードを終了するとき
は、もう一度押します。

日付設定

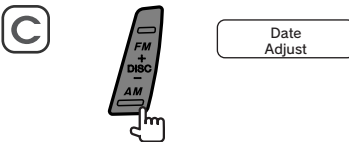
日付を設定します。

1 ファンクションセットモードにします

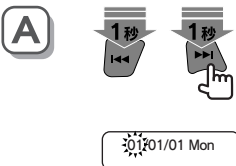


“FUNCTION”と表示されるまで、押し続けます。

2 日付設定項目を選択します

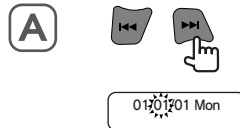


3 日付の設定を開始します



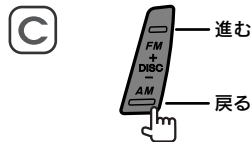
または を日付が点滅表示するまで押し続けます。

4 設定する項目を選択します



押すたびに、設定できる項目（年、月、日）が切り替わります。点滅中の項目が、設定可能な項目です。

5 日付を調整します



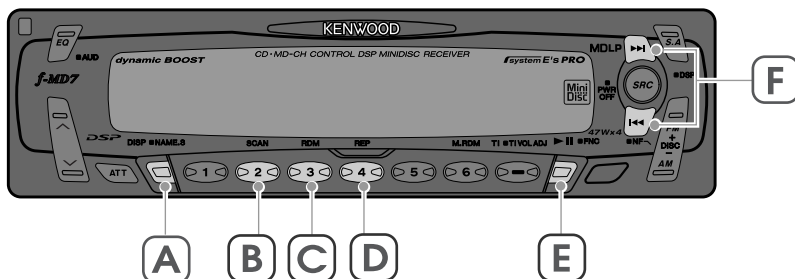
● 年表示は西暦の下2桁を表しています。

6 日付設定を終了します



ファンクションセットモードを終了するとき、もう一度押します。

MD Mode



トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭 / 前の曲へトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り / 早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り / 早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



もう一度押すとプレイを再開します。

トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 トラックスキャンプレイを開始します



トラックスキャンプレイ中は、トラックナンバーが点滅します。

2 聴きたい曲のところで...



その曲からプレイされます。

- すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

MDをいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なMDの聴きかたはEZ Operation（10ページ）をご覧ください。

トラックリピートプレイ

現在聴いている曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、トラックリピートプレイがオン/オフされます。トラックリピートプレイがオンのときは、トラックナンバーが点滅します。

ランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。



押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。ランダムプレイがオンのときは、トラックナンバーが点滅します。

🗨️ を押すと、次の曲をランダムに選択します。

タイトルスクロール

ディスプレイ上段のタイトル表示を、スクロール設定が“Manual”のときにスクロールさせます。

1 タイトル表示にします

ディスプレイタイプ選択（18ページ）およびディスプレイ上段表示選択（19ページ）を参照してディスクタイトルまたはトラックタイトルを表示します。

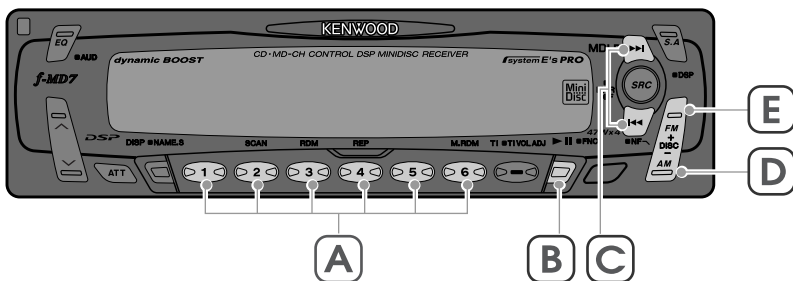
2 スクロール表示します



1秒以上押すと、表示中のタイトルが1回スクロール表示します。

🗨️ スクロール設定を“Auto”にしているときに上記の操作を行うと、タイトルが最初の文字からスクロールを開始します。（スクロール選択の方法は、ファンクションセット22ページを参照してください）

Tuner Mode



バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



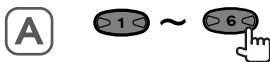
プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



FM1-3ch 82.5

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードが“Auto1”のとき受信状態の良い放送局を自動的に選びます。途中で解除するときは、もう一度押します。

チューニングモードが“Auto2”のときメモリーされている放送局を番号順に受信します。（メモリーの方法は次ページを参照してください）

チューニングモードが“Manual”のとき押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

● チューニングモードはファンクションセット（22ページ）の“Seek Mode”項目で選択できます。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（10ページ）をご覧ください。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

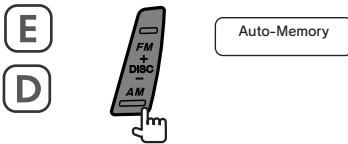
前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします



“FUNCTION”と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します



4 オートメモリーを開始します



または を周波数表示になるまで押し続けます。

6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。
ファンクションセットモードを終了するときは を押します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

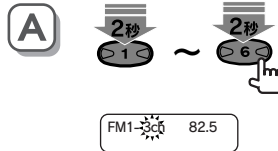
1 バンドを選びます

前記の“バンド切り替え”を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます

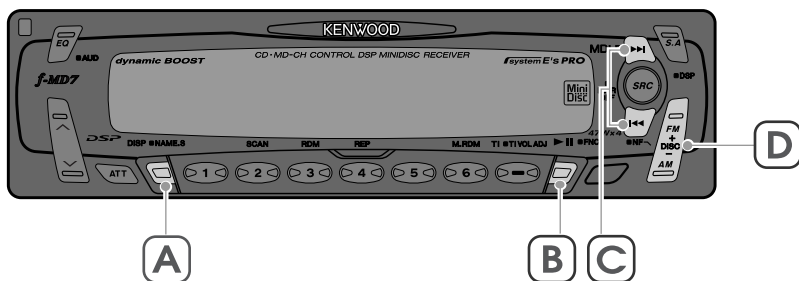


3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

Name Set



DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット) CDとFM/AM放送局に名前を付けます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

- ディスプレイの上部に、ディスクタイトル/トラックタイトルを表示中は、DNPSは行えません。タイトル以外の表示を選択しておいてください。
- MDにDNPSを行うことはできません。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

2 DNPS/SNPSを開始します



“NAME SET”と表示されるまで押し続けます。

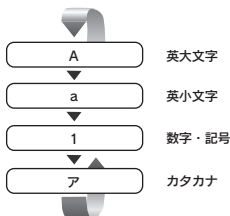
3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



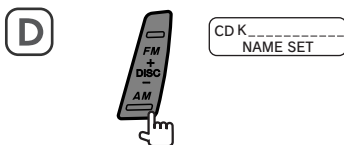
4 文字の種類を選びます



押すたびに次の順で切り替わります。



5 文字を選びます



6 3~5を繰り返して、すべての文字を入力します

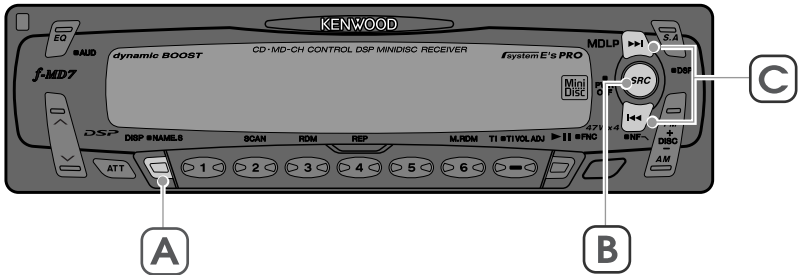
7 DNPS/SNPSを終了します



FM/AM放送局や別売品のCDチェンジャーやCDプレーヤーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。
また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- 名前はDNPSで12文字まで、SNPSで8文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- バッテリーから外したり、リセットボタンを押すとSNPSは消去されます。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、手順2～6の操作により変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局が32局、AM放送局が16局です。
- DNPSで登録できる枚数は接続しているCDプレーヤーまたはCDチェンジャーによって異なります。詳しくは、CDプレーヤーまたはCDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

Name Set



AUXネームセレクト

AUXに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします



2 ネームセットモードに入ります



“NAME SET”と表示されるまで押し続けます。

3 AUXネームを選択します



押すたびに次の順で切り替わります。

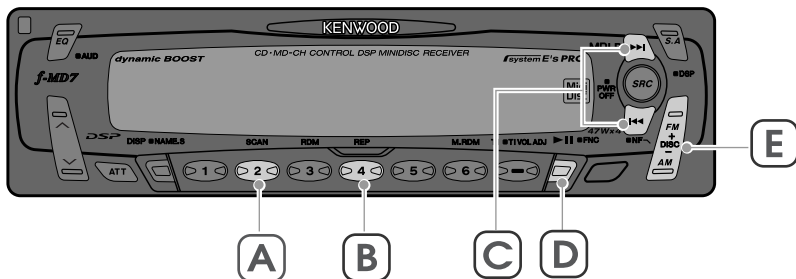


4 ネームセットモードを終了します



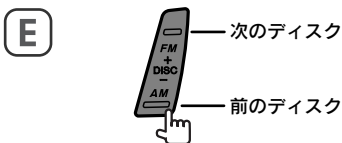
● 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。

External Disc Control



ディスクサーチ (ディスクチェンジャーのみ)

プレイするディスクを選択します。



トラックサーチ

順に曲を選びます。



押すたびに、次の曲、または現在プレイ中の曲の先頭/前の曲へとトラックサーチします。

マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り/早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り/早戻しされます。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。



もう一度押すとプレイを再開します。

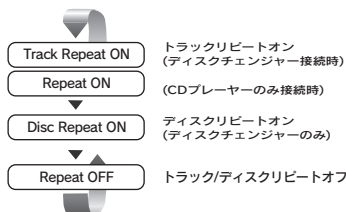
別売品のディスクチェンジャーやCDプレーヤーなどを接続しているときは、本機からコントロールできます。

トラック/ディスクリピートプレイ

現在聴いている曲またはディスクを繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフします。



トラックスキャンプレイ

ディスク内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 トラックスキャンプレイを開始します



トラックスキャン中は、トラックナンバーが点滅します。

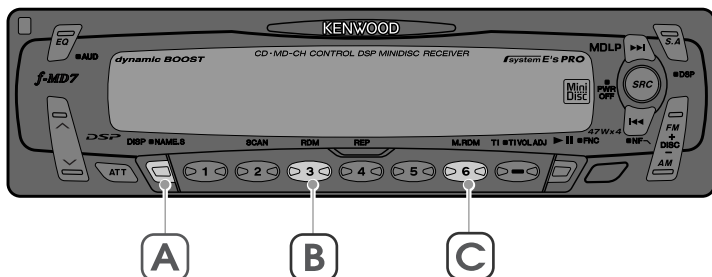
2 聴きたい曲のところで…



その曲からプレイします。

- すべてのトラックがスキャンされると、トラックスキャンプレイは、自動的に終了します。

External Disc Control



トラックランダムプレイ

現在のディスク内の曲をランダムな順でプレイします。

B



Random ON

押すたびに、トラックランダムプレイがオン/オフします。トラックランダムプレイがオンのときはトラックナンバーが点滅します。



を押すと、次の曲をランダムに選択します。

マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)

マガジン内のディスクをランダムな順でプレイします。

C



M.Random ON

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。マガジンランダムプレイがオンのときはトラックナンバーとディスクナンバーが点滅します。



を押すと、次の曲をランダムに選択します。

タイトル/テキストスクロール

ディスプレイ上段のタイトル/テキスト表示を、スクロール設定が“Manual”のときにスクロールさせます。

1 タイトル/テキスト表示にします

ディスプレイタイプ選択（18ページ）およびディスプレイ上段表示選択（19ページ）を参照してディスク/トラックタイトルまたはディスク/トラックテキストを表示します。

2 スクロール表示します

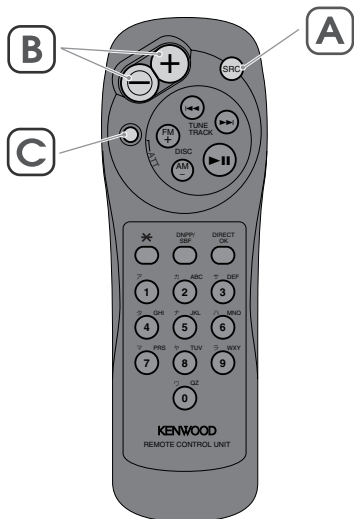


1秒以上押しすと、表示中のタイトル/テキストが1回スクロール表示します。

● スクロール設定を“Auto”にしているときに上記の操作を行うと、タイトル/テキストが最初の文字からスクロールを開始します。（スクロール選択の方法は、ファンクションセット22ページを参照してください）

Remote Control

Common Operation



ソース切り替え



プレイするソースを切り替えます。

音量調節



音量を調節します。

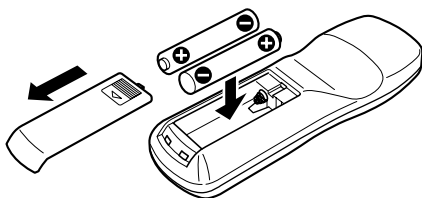
アッテネーター



ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと元の音量に戻ります。
Ⓜを押しても元の音量に戻ります。

電池の入れかた

付属の電池（単四型2本）を+/−の向きを正しく合わせて入れてください。



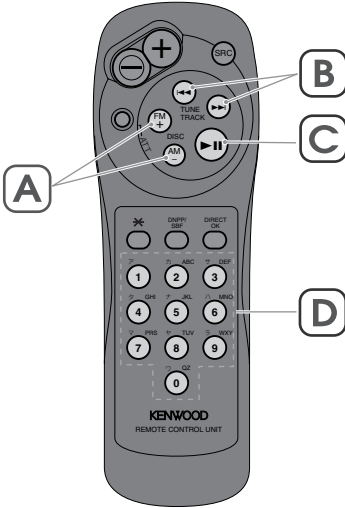
操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、2個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。



注意

- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れてたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

MD/CD Operation



ディスクサーチ (ディスクチェンジャーのみ)

A



プレイするCD/MDを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、
指定した番号のディスクをダイレ
クトサーチします。

トラックサーチ

B



プレイする曲を選択します。
また、テンキーに続けて押すと、
指定した番号のトラックをダイレ
クトサーチします。

プレイ/ポーズ

C



プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開し
ます。

テンキー

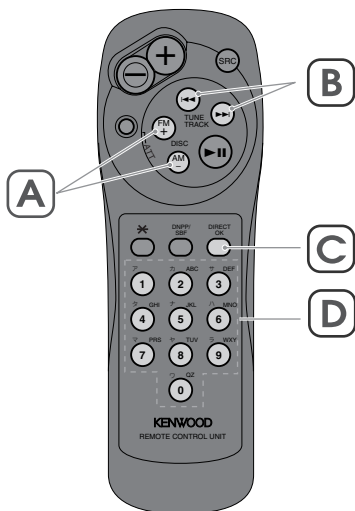
D



テンキーに続けてディスクサーチ
またはトラックサーチキーを押す
と、ダイレクトサーチできます。

Remote Control

Tuner Operation



バンド切り替え

A



受信するバンドを切り替えます。

選局

B



受信する放送局を選択します。

ダイレクトサーチ

C



このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

例：76.1MHz(FM)の場合（3桁）

761

例：0522kHz(AM)の場合（4桁）

0522

テンキー

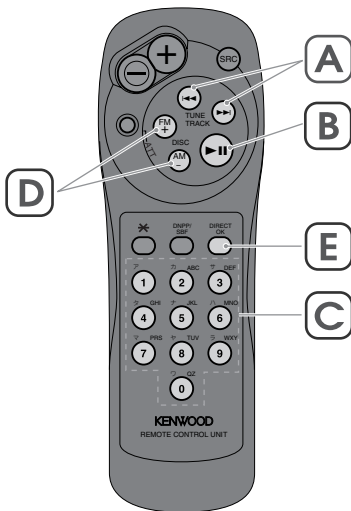
D



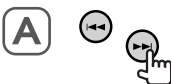
メモリーされている放送局の番号を選択します。（①～⑥）

DIRECTキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

SNPS/DNPS Operation



カーソル



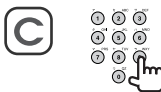
カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え



入力する文字の種類（英大文字/英小文字/カタカナ/数字・記号）を切り替えます。

テンキー



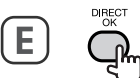
文字を入力します。
例：「コ」を入力する場合
（カタカナ）
②（5回押す）
例：「h」を入力する場合
（英小文字）
④（2回押す）

文字選択




文字を順に切り替えます。

終了



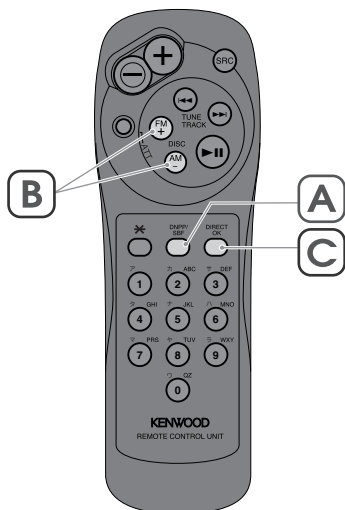
登録が完了します。

● SNPS/DNPSを開始するには、f-MD7本体の  を2秒以上押します。

Remote Control

SBF Operation

別売品のCDチェンジャーにセットされているCDの中から、DNPSで付けたディスクネームを表示させて探す機能です。
(SBFはリモコンだけで使用できる機能です)



1 SBFを開始します

A



“DNPP”と表示されてSBFモードになります。
ディスクネームが5秒間ずつ表示されます。

聴きたいディスクの表示順を変えます

B



ディスク名を順送り/逆送りします。

2 ディスクを選びます

C



表示中のディスクをプレイします。

SBFを中止します

A



—



Help ? Operation

電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。
- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。

音が出ない/音が小さい

- 音量が最小になっている。
- フェダー、バランスが片方に寄っている。
- ファンクションセットの“Builtin AMP Mute”項目が“ON”に設定されている。
- 音量を適度に上げてください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。
- ファンクションセットの“Builtin AMP Mute”項目を“OFF”に設定してください。(22ページ)

操作スイッチを押しても動作しない

- 操作パネルが開いている。
- 内蔵のマイコンが誤動作している。
- 操作パネルを閉じてください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、CH/CDに切り替わらない

- それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。
- 別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。
- 別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。
- 本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。
- 接続されていないソースには切り替わりません。「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。
- リセットボタンを押してください。(8ページ)
- O-NスイッチはN側に設定してください。
- 対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

SRCボタンを押しても“TV”の表示がされない

- ファンクションセットの“Builtin AUX”項目が“OFF”に設定されている。
- ファンクションセットの“Builtin AUX”項目を“ON”に設定してください。(22ページ)

Audio Control

オーディオコントロールの“NF Level”、“LPF NF”、“NF Phase”項目が表示されない

- ファンクションセットの“SWPRE”項目が“Rear”に設定されている。
- ノンフェダー出力が“OFF”になっている。
- ファンクションセットの“SWPRE”項目を“N-Fad”に設定してください。(22ページ)
- ノンフェダー出力を“ON”にしてください。(15ページ)

オーディオコントロールで表示されない項目がある

- ファンクションセットの“DB PRO”項目が“OFF”に設定されている。
- ファンクションセットの“DB PRO”項目を“ON”に設定してください。(22ページ)

DSP効果が得られない

- 2スピーカーシステムになっている。
- フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。
- スピーカーの極性が逆に接続されている。
- フェダーまたはバランスの調整が片寄っている。
- 「接続」(54ページ)を見て正しく接続してください。
- フェダーやバランスを正しく調整してください。(16ページ)

MD/External Disc mode

SRCボタンを押してもディスク (MD/CD) に切り替わらない

ディスクがセットされていない。

プレイするディスクをセットしてください。

ディスク (MD/CD) が入らない

すでにディスクが入っている。

入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。

正しい方向で入れてください。

MDが引き込まれても、すぐにイジェクトされる

MDに何も録音されていない。

録音/記録されたMDを入れてください。

ディスク (MD/CD) のプレイ中に振動で音飛びする

- 取り付け角度が 30° を超えている。
- 取り付けが不安定になっている。

- 30° 以下になるように取り付けしなおしてください。
- しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

MDをプレイできない

結露している。

しばらく放置してから使用してください。(8ページ)

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。(27/36ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

トラックリピートがオンになっている。

トラックリピートをオフにしてください。(27/35ページ)

曲の先頭しかプレイされない

トラックスキャンプレイがオンになっている。

トラックスキャンプレイをオフにしてください。(26/35ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

ディスクリピートプレイがオンになっている。

ディスクリピートプレイをオフにしてください。(35ページ)

曲が順にプレイされない

トラックランダムプレイがオンになっている。

トラックランダムプレイをオフにしてください。
(27 / 36ページ)

ディスクが順に演奏されない

マガジンランダムプレイがオンになっている。

マガジンランダムプレイをオフにしてください。(36ページ)

文字がスクロールされない

ディスクネームを表示しているため。

スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトルとディスク/トラックテキストです。

ダイレクトディスクサーチができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

マガジンランダムができない

ディスクが1枚しか入っていない。

ディスクを2枚以上挿入してください。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。

各機能をボタン操作でオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

CD-R、CD-RWがプレイできない

●ファイナライズ処理を行っていない。

●CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。

●CD-R/CD-RWに未対応のプレーヤーでプレイしている。

●CD-R/CD-RW対応のCDプレーヤー/CDチェンジャーでプレイしてください。

トラックサーチできない

最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。

ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

ディスクを取り出せない

車両のACCスイッチをオフしてから10分以上経過したため。

ACCスイッチをオフしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

Name Set/SBF

DNPSができない

- 別売品KMD-C30またはRJ-480でMDをプレイしている。
- ディスクタイトル/トラックタイトル表示になっている。
- 別売品KMD-C30またはRJ-480ではMDにDNPSはできません。
- ディスクタイトル/トラックタイトル表示以外の表示を選択しておいてください。

DNPS表示にしても“NO NAME”と表示される

DNPSが登録されていない。

DNPSを登録してください。(30ページ)

登録したはずのステーションネームが消えた

- FM放送で33局目、AM放送で17局目のステーションネームを登録した。
- 車両のバッテリーを交換などしたため。
- 本機のリセットボタンを押したため。
- 登録できるステーションネームはFM放送で32局、AM放送で16局分です。
- 本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。
- 本機のリセットボタンを押すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

登録できる枚数以上のディスクネームを登録した。

登録できるディスクネームは接続されたCDチェンジャーによって異なります。詳しくは、CDチェンジャー付属の取扱説明書をご覧ください。

ディスクネームがまちがって表示される

総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。

識別する方法はありません。

SBFで名前が表示されない

- ディスクネームが登録されていない。
- マガジンに入っているCDを一度もプレイしていない。
- ディスクネームを登録してください。
- すべてのCDをプレイしてください。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

- TOC Error** : ●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクが裏返しになっている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが入っていない。
●トレイが入っていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Error 12** : 演奏しようとしたMDがデータ用MDです。
→データ用MDを取り出して、音楽用MDを入れてください。
- Eject** : ●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- No Disc** : ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- NO NAME** : ●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。
- NO TITLE** : タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- NO TEXT** : CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
- No Tr Disc** : 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
→ほかのディスクを使用してください。
- Blank Disc** : 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。
→ほかのディスクを使用してください。

システムの異常を以下のように表示してお知らせします。

- Error 77** : 何らかの原因で正常に動作していない。
→本機のリセットボタンを押してください。"Error 77"の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- Hold Error** : 本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60℃以上になると保護回路が動き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
→本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
- Mecha Error** : ●ディスクマガジンに異常がある。
→ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
→イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- IN (点滅)** : MDプレーヤーが正常に動作していない。
→MDを取り出してから、MDを入れなおしてください。

Help ? Word

AMP Bass

(アンプコントロール)

EXT.CONT.コードで接続した別売品のアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

Beep

(ビーブ)

SRCボタンを押したときや、ボタンを1秒以上または2秒以上押したとき、押されたことを確認できるように“ピッ”音がする機能です。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

Bass EXT

(バスエキステンデッド)

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に約20%伸びた状態になります。

Bass FRQ/TRE FRQ

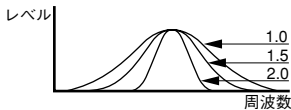
(バスフリクエンシー/トレブルフリクエンシー)

低音と高音を調節する周波数(中心周波数)を、この機能を使って設定することができます。

Bass Q

(バスクオリティーファクター)

低音の調節スローブを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスローブの傾斜が大きくなります。



Builtin AMP Mute

(ビルトイン・アンプ・ミュート)

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“ON”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティーをアップさせることができます。

Builtin AUX

(ビルトイン・エーユーエックス)

ソース選択時にAUXソースも含めて切り替えるか設定ができます。AUX入力を使用していないときは、“OFF”に設定しておけば、AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

Dimmer

(ディマー)

この機能を“ON”に設定しておくと、車両のライトスイッチをオンにしたときに、自動的に本機のディスプレイを暗くすることができます。

DSP

(ディエスビー)

音楽信号をデジタル処理することにより、反射音や残響音などの音響効果を作り出し、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作る機能です。

HPF-Front/HPF-Rear

(ハイパスフィルターフロント/ハイパスフィルターリア)

サブウーファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。

設定した周波数より低い音域をカットします。“Throu”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

LPF NF

(ローパスフィルター)

ノンフェーダー出力から高音を削除することができます。ノンフェーダー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能で低域のみの音にすることができます。

設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“Thru”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

MONO

(モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなる場合があります。

Scroll

(スクロール)

ディスク/トラックタイトルやディスク/トラックテキストを選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“Auto”に設定しておくともスクロールを繰り返し行い、“Manual”に設定しておくとも表示が変わったときだけ1回スクロールします。

Seek Mode

(シークモード)

放送局の探しかたを設定することができます。

Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

SWPRE

(スイッチングプリアウト)

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェーダー調整に影響されない出力（ノンフェーダー出力“N-Fad”）に切り替えることができます。フェーダー調整に影響されないでサブウーファー用の出力に活用できます。

Volume Offset

(ボリュームオフセット)

オーディオコントロールで“Volume Offset”を設定すると、普段の音量に対して、各ソースごとで音量差を設定しておくことができます。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C510, KDC-C506など）、MDチェンジャー（KMD-C30, RJ-480など）です。

取り付け時のご注意

警告



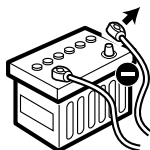
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V \ominus アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの \ominus 端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。



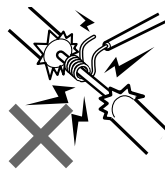
実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通り行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

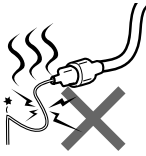


禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



実施



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

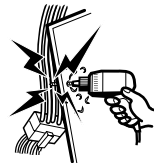
バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

接続



最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、
ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターをf-MD7に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。

ヒューズ (10A)

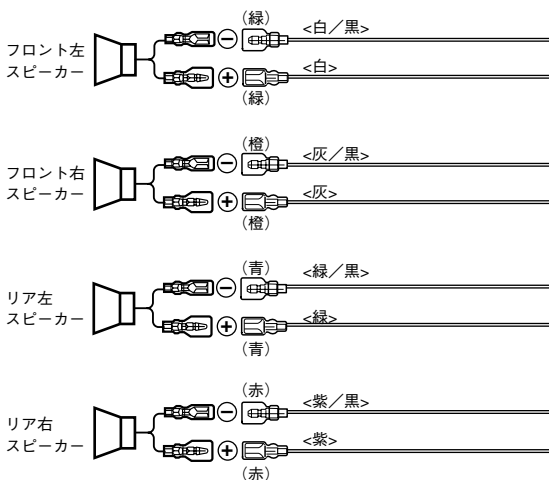
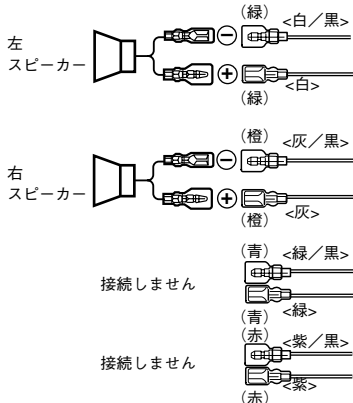
電源ハーネス
(付属)

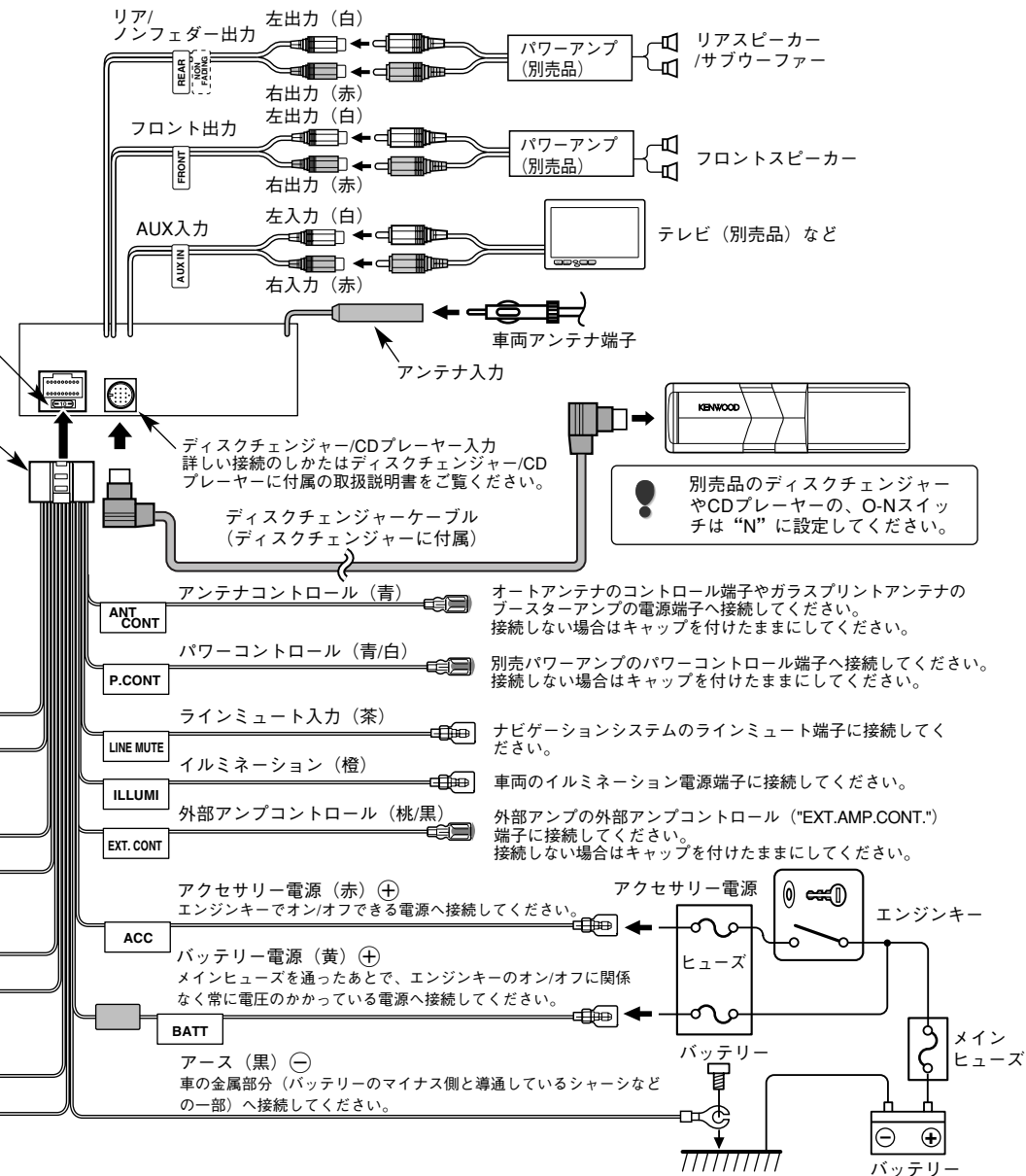


注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法





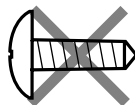
取り付け

付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) を4本使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。なお、取り付けネジはトラスネジとサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



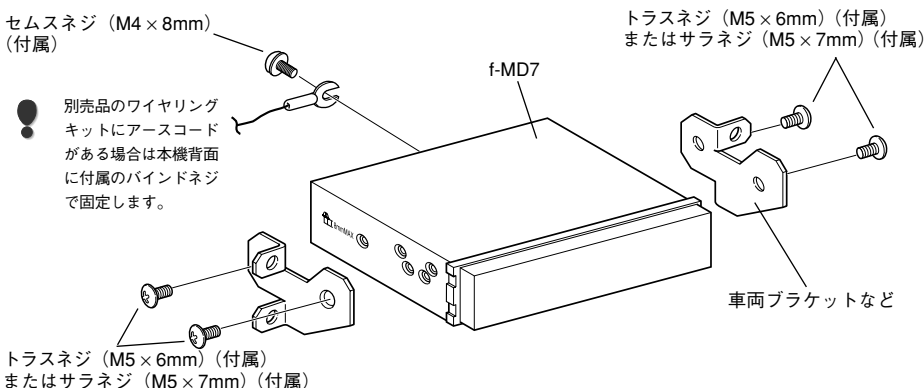
セムスネジ (M4 × 8mm)
(付属)



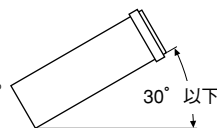
別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。

トラスネジ (M5 × 6mm) (付属)
またはサラネジ (M5 × 7mm) (付属)

トラスネジ (M5 × 6mm) (付属)
またはサラネジ (M5 × 7mm) (付属)



- 本機の取り付け角度は30° 以下になるように取り付けてください。30° 以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。



保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

修理を依頼されるときは

「Help ? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できない場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dB μ (25 μ V)

MDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs($\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター (D/A)	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	400~900 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz~20 kHz (\pm 1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
ステレオセパレーション	85 dB

オーディオ部

最大出力	47 W \times 4
定格出力	29 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD以下)
プリアウトレベル	1.6 V/10 k Ω (ディスクプレイ時)
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下
トーン・コントロール (Bass)	100 Hz \pm 10 dB
(Mid)	1 kHz \pm 10 dB
(Treble)	10 kHz \pm 10 dB

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D)	178 \times 50 \times 160 mm
質量 (重さ)	1.6 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
サラネジ (M5 \times 7 mm)	4本
トラスネジ (M5 \times 6 mm)	4本
セムスネジ (M4 \times 8 mm)	1本
リモコン	1個
電池 (単4型)	2本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、サポートセンターをご利用ください。
サポートセンター (東京) 電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06)6394-8085 〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00～18:00 (土、日、祝祭日および当社休日とは休ませていただきます)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。